

『二宮さん 薪を背負って 本を読む』

二宮金次郎

(1787年～1856年)

二宮金次郎は、江戸時代後期に道徳と経済の両立を説いた農政家、思想家です。薪を背負いながら勉強をしたという勤勉な金次郎の様子を表した「負薪読書」の像が矢立小学校の玄関横にもあります。矢立小の子ども達も金治郎さんを見習ってほしいという願いが込められていると思います。

